

伊那民報

発行：日本共産
党伊那市委員会
伊那市狐島3879
TEL：72-2465
HP：jcp上伊那

「合併」を改めて問い直す

市政に届け！高遠住民の声

伊那市は来年4月には市長・市議選を迎えます。伊那市が市民にとって少しでも住みやすくなっているのかどうか、この機に多方面の方から意見を聞いていきます。今回は高遠の住民の声です。

「暮らしくくなくなった」

今、高遠町で「合併」の話題になると、多くの人が「合併して何も良いことが無かった」と言い、飲食店では「客が半分以下になった」と嘆き、「伊沢修一先生音楽祭まで伊那に持って行かれてしまった」と憤る人も多い。

旧伊那市と高遠町、長谷村が合併して来年二月末で満八年、四月の合併後二回目の市長・市議選を前に、改めて合併が何をもたらしたのかを問い直す時だと思えます。

旧高遠

町の「合併問題協議会」で、伊東義人町長（故人）の「合併し



銚持神社の灯籠まつり

なければやっていけない。「の一言が決定的でした。その後、委員が順番に意見を求められ、「町長がその言われるのであれば仕方ない」との発言が多数を占め、合併への勢いが加速。住民投票による賛否を問うこともありませんでした。

TPP参加で日本は衰退

金子勝氏（慶応大教授） J Aで講演

9月4日夜、J A上伊那主催の経済講演会が、金子勝慶応大教授を迎えて、伊那市内で行われました。「TPPは地域に何をもたらすか」と題した講演で、金子氏はTPPが抱える問題や与える影響をユーモアを交えて分かりやすく話しました。

4・12合意の内容

対米事前協議の合意について

当時の高遠町より困難を抱えていた町村が、今、自立している姿を知るにつけ、合併が得策であったのか、今も疑問でなりません。

あたたかい市政に転換を

制度上、合併を解消することは困難としても、防災、医療、福祉など市民の命に係ることや農業施設・産業基盤の整備と維持管理、交通、買い物、そして教育・文化等、今後住民の意見を出し合いながら、地域の隅々まで行き届くあたたかい市政への転換をめざしていきましょう。

（高遠 大場美広）

「文書をよく読むと、日本は一方的にむしり取られていく感じ」とし、日本と米国の政府発表の内容には「ずれがある」と話しました。

ずれの中でも（以下次ページへ）



演壇を降りて話す金子氏

地 蜂

伊那市境区に茂っていた山梨の木が、道路拡張のため、切り倒すか、移植して残すか問題になった。生活には道路が広い方がいい。移植には費用がかかる。しかし、二つとない貴重なものであったら、後で惜しかったと言っても、元には戻らない。そこで、伊那市文化財審議委員会にかけられた。幹がうつろになりだいが弱っているが、樹齢四百年とも推定され、県下一の大きさの古木である。是非残すべきと、移植がきまった。移植したが、この春芽が出ない。土用芽も期待はすれで、枯死か。移植のし方に問題があったのか、富良野の一夜の城道路拡張のため一部を削るつと。この例も住民生活ののかねあいで譲り合って、なんとか保存の道を模索する。考古・歴史の文化遺産、民俗的な文化遺産、自然環境等広範にわたる人類の遺産を完全に後世に伝える必要がある。第二次世界大戦中の飛行場建設、開拓に中国や朝鮮人を酷使した例などの調査記録が必要だ。伊那市・高遠町・長谷村と合併して7年半、文化財を見ると、目が行き届かず心配なことが多々ある。文化財審議委員会の構成人数が、十名という少数になった。しかも守備範囲は広い。各分野の識者を集める事はできない。貴重な自然と文化遺産の保護が疎かにされかねない。（竹入）

今年2回目の若手県への被災地支援は8月30日～9月1日までの日程で行われ、5人が参加しました。

みなさんから寄せられたお米240kg、じゃがいも110kg、ズッキーニ60kgなどの野菜をワゴン車に積み込んで、760kmの道のりを約10時間かけて北上。2日目に大槌町内2ヶ所の仮設住宅を訪ねて、合わせて78戸全戸にお配りしました。

このうち、柁内地区仮設では、集会所をお借りしての「お茶っこ」



スプーンの肩たたきでサービス

(茶話会)を開き、20人以上の方が集まり、お話を聞くことができました。

「被災地支援」続けています

参加した武田優子さん(22)は、「今回初めての被災地で、地元の人たちと交流して、こんなに感謝されるとは思いませんでした。ギョツと手を握りしめ、顔をじっと見ての『ありがとう、本当にありがとう』との言葉は、ふだんの生活では経験のないものでした。家が流され何もなくなったところに、草が生えて野原のようになっていて、被災前の街の様子を想像することすら難しい現状で、復興とは程遠い感じでした。現場を見て、地元の人と交流する、問題と向き合うという経験を、より多くの人にしてもらいたい。他人事としてとらえている意識を変えていくことが、1日も早い復興につながると思います。」と感想を述べていました。

地域分散ネットワーク型へ

また、今の産業構造のままだと、日本は衰退の一途をたどるので、国民みんなが幸せになれるようにするには、産業構造を地産地消の「地域分散型」へと転換しなければならぬと提案し、代案を共有することが大事と呼びかけました。

1面より
保険(郵便局がアメリカのアップラックを扱っている!) 薬の特許期間の延長(アメリカの高い薬を何十年も買わされる)など知的所有権 政府調達(武器やコメ等、公共事業にもアメリカ企業が参入) 急送便 の4項目は「地域に最も敏感に反映される問題が隠されている」と指摘しました。



参加者語る中身の夕間

今年3月から毎週金曜の午後6時から、いなつせ北側広場で「なくせ原発」「脱原発」「原子力発電所をなくす」を訴える行動が続いています。

ねばり強く「脱原発」しな金行動

9月20日は、医療生協の組合員や同職員らが参加。横断幕、プラカードを持ち、ハンドマイクで福島原発の汚染水が流れ出している深刻な事態を訴え、「原発いらぬ」「原発なくそう」「子どもを守るう」などコールで通行人や商店街に向け呼びかけました。

交差点先の商店の女性は、コールに参加し「頑張つて」などと激励をしていました。高校生や勤め帰りの人など、道行く人は拍手や会釈をする人が目につくようになりました。行動に参加したTさんは「こうした取り組みにもっと多くの人が参加し、大きな力にしたいといけません」と語っていました。

保育園・小学校の存続めざして

富良野新山地域のとりくみ

「新山の保育園、小学校を考える会」は平成18年9月に新山区長会において「子どもは地域の宝であり要である」という認識を共有し、少子化・過疎化の進むなか、また保育園、小学校の存続が危惧されるなか、地域を挙げて保育園、小学校の諸活動を支援するとともに、子どもたちのための地域活動や保育教育環境を整える活動を目的に発足しました。

平成21年4月より保育園が休園になってしまいましたが、小学校が小規模特認校に認定され、地区外からの児童数も年々増えてきました。利用家庭の通学負担軽減として送迎ボランティアを発足させ、親子さん達の手助けを行っています。

保育園についても今年アンケート集約の結果、平成26年4月より再開ができる見通しです。

今後、定住対策に力を入れて新山に住める環境を整えていくと同時に、小規模ならではの特色ある保育園、小学校へと環境を整えたいと思います。

新山の保育園 小学校を考える会
会長 六波羅和徳

今こそ、労働組合運動の強化を

第1回上伊那労働学校開かる

「ブラック企業」がいわゆる今こそ、労働組合運動の強化をと上伊那学習協会上伊那地区労働共催による第1回の上伊那労働学校が、8月30日、伊那市振興公社会議室で行われ約30名が参加しました。

つたごえサークル「ざざむし」による「冗談じゃない税」「原発下請労働者」などの合唱の後、講師の愛知県学習協会展長・労働者教育協会理事の吉田豊さんにより、「『もの見方・考え方』と『労働組合』、現代社会の状況をふまえて」と題した講演が行なわれました。

講演では、現実の社会は一人の人間でも矛盾した立場や態度が内在しており、それに対する

には期待や「あるべき」からでなく弁証法的に現実から出発することの重要性などについて話されました。
主催者はこのような労働学校を今後も続けて行きたいとしています。

平和を守るとりくみ続ける

東春近9条の会

「東春近9条の会」は、毎月「日本国憲法第9条を守る署名」を集め、事務局会議を開催し、憲法を守るとりくみをつづけています。

9月も「9条の会」の会員らが、身近な人から署名を集めたり、「会」への加入者を増やしたりしました。

「会」は、映画「ベアテの贈りもの」の上映を計画中です。

窓

市議の

要介護度1と2の特養はずし

飯島 光豊

9月議会の一般質問で私が取り上げた、介護保険からの「要支援1と2はずし」。安倍政権は介護

保険料を国民の年金から「天引き」までして取り上げながら、国は要支援の方の給付は市の事業に丸投げするといえます。現行の全国一律のサービス内容・人員基準・利用料が、財政難等の理由で市町村間でバラバラになり、「切り下げ」「安上がり」「手抜き」にもなりかねませ

ん。伊那市では要支援の方の726人（4月現在）が影響を受けます。その上、最近もつとひどい仕打ちが企まれています。厚生省は特別養護老人ホームの入所条件を「要介護3」以上の方に限定すると言っています。伊那市から特養に入所されている方のうち、「要介護1」の入所者は44人、「要介護2」の入所者は59人。全入所者413人の25%にもあたります（いずれも4月現在）。「要介護1と2」の認知症の方や低所得者は行き場を失う、高齢者と家族を揺るがす安倍内閣による社会保障の大改悪案 まったく許せません。



温暖化の影響が伊那市にも？

建石繁明 3

温暖化の影響が、最近では、南方に分布していた虫たちが、伊那市内で見られるようになり、ほぼ定着したものと見て、ツマグロヒヨウモン、ラミーカミキリの他にナガサキアゲハなどがあります。

今回は、メンガタスズメ（スズメガ科）の話です。このガの背面には人面模様が見られることから種名が付いたようです。一度見たら忘れられないほど印象が深い人面です。

幼虫の体長は約80mmと大きく、尾（尾角）はやや短く、先端が背面に湾曲しています。体の全体が緑色で、背線は黄色です。9月頃に現れて、ゴマ・ナス・唐辛子などの葉を食べます。写真はトマトの葉を食べている状況ですが、私の庭にある「ヨドリシヨウゴ」の葉も食べます。



トマトの葉を食べるメンガタスズメ

成虫には長野県内のセイヨウミツバチの巣に侵入して、蜜を吸う個体もいるようです。神奈川県などでは以前から観察されていたようですが、私のところに標本を持参して判別を頼まれたが、木曾の大滝村で採取されたものでしたから、長野県内にも来ているようです。

今回写した幼虫は、トマトの葉を食べていましたが、雨避け栽培のトマトの数メートルと離れていない場所に、セイヨウミツバチの巣が置かれていることから、蜜を吸いに来た序でに卵をトマトに産みつけたのかも知れません。

随想

ナニコレ珍百景

山寺区 山田数男

某テレビ局のバラエティー番組「ナニコレ珍百景」は面白い人物や珍しい物等を募集して放映している人気番組のこと。

先日「ナニコレ」と驚くものに出会った。松の大木の胴体から「ヒノキ」が生えているのだ。森の中のウォーキングコースを何年も歩いていながら全然気がつかなかった。これは珍しいことなのか、どうしてこんな事が起こるのか、知りたいと思うが自然に起きる現象の解明は中々難しいと思う。最近異常現象によって大きな災害が起き、それらはみな「ナニコレ」と思つものばかりで自然の力の凄さに驚くばかりだ。科学が進み人間の力で何でも出来そうな時代でも自然現象だけはコントロールできない。異常現象発生原因のひとつに地球温暖化の影響も有るといわれているが、その他の原因も含めこれを取り除くことはできず永久に大きな災害に悩まされて暮らさなければならぬのか、対策は大変なことだ。

健康食品や化粧品の使用効果についてとか、その他各種世論調査の結果発表についても「ナニコレ」と思つものがある。調査は一応統計的手法を使っているが調査対象サンプルの抽出方法で結果は人為的にコントロールすることが出来るので注意して見なければならぬ。

この頃の政治の動きを見たり聞いたりすると「ナニコレ」と驚くものが少なくない。こんな「ナニコレ」は見たくも聞きたくもないと思うのは私ばかりではないと思う。



松の胴体から生えているヒノキ

借し案内

絵手紙

宮下 純枝

「脱原発」いな金行動

毎週金曜日午後6時～6時30分

いなっせ北側広場

主催：さよなら原発上伊那の会

連絡先：医療生協組合員センター

原水禁世界大会報告集会

10月4日(金)午後6時半～

いなっせ501～503会議室

主催：上伊那原水協

上伊那医療生協健康まつり

10月6日(日)

午前10時30分～午後2時

飯島町コスモ21跡地

* 講演：福富みずほ医師

* 模擬店・体験コーナー・抽選など

お問合せ：組合員センター(79-8702)

第36回赤旗信州秋まつり

10月13日(日)午前9時開会

場所：やまびこドーム(松本市)

* 記念講演：市田忠義書記局長

* メイン企画：歌手 太田真季

* ご家族揃って楽しめます。

* 伊那からバスが出ます。

詳しくはお近くの共産党市議

または民主会館(72-2465)まで。

主催：秋まつり実行委員会

飯島光豊後援会マレットゴルフ大会

10月13日(日)13時開場

場所：東春近マレットゴルフ場

懇親会はJ A 春富支所選果場

連絡先：渡辺(72-4748)

市川(73-2928)

お便り、情報、原稿をお待ちしています。

どんなことでも結構です。

発行元までお寄せください。(編集部)